科目名：精神臨床看護	必修	1単位(45時間)
(Psychiatric Clinical Nursing)		

履修年次/時期：2年次　後期　　授業形態：講義,演習

主担当教員：中村仁志

主担当教員詳細：精神科臨床実務経験15年や本学内、学外での精神領域に関連した活動をもとに、事例を通 して臨床における精神看護を体験するような形で、講義及び演習により臨地実習に挑む知識と技術、心構えを身に着 けられるような授業を進めていく。外部講師の経験を通して精神科リハビリテーションなどを学ぶ。

担当教員名：木村幸代

学修目的

精神病態学および精神看護学概論で学んだ知識を、DVDなどによる事例から、より実践的な思考と考察ができるように学ぶ。講義と演習の内容から実際に精神看護学実習で使用する記録を完成させる。
対人的コミュニケーションの練習と模擬患者とのコミュニケーションにより実践的な情報収集の方法を習得するとともに、グループワークによる広がりのある自己分析を理解する。
DP3に関連し、精神看護学実習を念頭においた、実際の患者を想定した精神障害者とその家族などの理解を深め、看護師としての知識を活用した行動を身につける。

関連するCP：CP2,CP3,CP5,CP6　　科目No. KNz-225

この科目が目的としているDP

1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
	(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
	(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
	(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	－
3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
	(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
	(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○

◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP
○：この講義・演習・実習と関連があるDP

到達目標

①精神疾患、症状、状態別における患者の観察と看護を述べることができる。
②精神障害を有する患者とその家族への援助を述べることができる。
③精神障害を有する患者への治療・検査時の看護を述べることができる。
④ゴードンの機能的健康パターン理論を理解し、全人的視点にもとづく看護過程を考えることができる。
⑤信頼関係構築に向けたコミュニケーションの技法を演習にて実践できる。
⑥プロセスレコードを記述し、分析と検討会における意見交換ができる。

授業概要

心を病んでいる人々とその家族の理解を深めるために必要となるアセスメント方法、看護問題の抽出、それに応じた看護援助計画と評価を学習する。

評価方法

授業による記録と課題の提出：80%
演習点：20%
課題に対するフィードバックは掲示で行う。

予習・復習時間

【予習】0.5時間
【復習】0.5時間

教科書

全人的視点にもとづく精神看護過程 第2版 (医歯薬出版株式会社)

参考書

a.新体系看護学全書 精神看護学概論/精神保健 精神看護学①(メジカルフレンド社)
b.新体系看護学全書 精神障害を持つ人の看護 精神看護学②(メジカルフレンド社)

オフィスアワー連絡先

中村 仁志　9:00～17:00　第3号館3階研究室　h.nakamura@kdu.ac.jp
外部講師は中村にメールでお願いします。
不在時はメールでお願いします。

実施回	第1回	実施日	2026/09/11 (金)	時限	1	班	
授業計画	【精神看護実践の特徴】 1. 対象の全人的理解 2. 看護倫理 3. 対象ー看護師関係 4. 専門職としての知識・技術 5. 対象の生活	予習	教科書P2の①精神看護の定義・概念を読んでくる。				
		復習	精神看護の対象者についての特徴を確認する。				
		キーワード	看護職の倫理綱領、トラベルビー、ICFモデル				
授業形態	講義	担当	中村				

実施回	第2回	実施日	2026/09/11 (金)	時限	2	班	
授業計画	【全人的視点と精神看護】 1. 精神疾患の側面 2. 精神障害の側面 3. メンタルヘルス(不調)の側面 4. ウェルビーング(好調)の側面 5. 心の健康とストレス 6. 精神看護でのコミュニケーション	予習	教科書P14の①より健康的な人間をめざす精神看護とは、を読んでくる。				
		復習	全人的な捉え方の側面を確認する。				
		キーワード	ウェルビーング、ストレス脆弱性、スピリチュアリティ				
授業形態	講義	担当	中村				

実施回	第3回	実施日	2026/09/18 (金)	時限	1	班	
授業計画	【精神看護における看護過程 1. NANDA-Ⅰ看護診断 2. ゴードンの11の機能的健康パターン 3. 全人的視点による精神看護のアセスメントポイント	予習	教科書P24の①ゴードンの11の機能的健康パターンとNANDA-Ⅰ看護診断を読んでおく。				
		復習	ゴードンの11の機能的健康パターンの分類を整理しておく。				
		キーワード	NOC、NIC、DSM-5、ICD-10、				
授業形態	講義	担当	中村				

実施回	第4回	実施日	2026/09/18 (金)	時限	2	班	
授業計画	実習の展開(1) ①患者との出会い(観察) ②記録からの情報収集 ③挨拶と受容的かかわり(初めてのコミュニケーション)	予習	教科書P45の＃1非効果的健康維持行動を読んでおく。				
		復習	DVDの事例患者の情報をフェイスシートに記載する。				
		キーワード	挨拶、観察、初期のコミュニケーション、偏見、出会い				
授業形態	講義	担当	中村				

実施回	第5回	実施日	2026/09/25 (金)	時限	1	班	
授業計画	実習の展開(2) ④記録からの情報のアセスメント ⑤かかわりからの情報収集 ⑥不足している情報のとり方	予習	教科書P52のCOLUMNを読んでくる。				
		復習	記録からの情報をフェイスシートに整理する。				
		キーワード	個人情報保護、入院形態、フェイスシート、アセスメントシート				
授業形態	講義	担当	中村				

実施回	第6回	実施日	2026/09/25 (金)	時限	2	班	
授業計画	実習の展開(3) ⑦ケアに合わせたコミュニケーション ⑧全体像をとらえるための関連図の書き方	予習	フェイスシートを整理し、不足している情報を考えてくる。				
		復習	不足する情報を苦ミュニケーションから捉え、関連図に記録しておく。				
		キーワード	セルフケア要素				
授業形態	講義	担当	中村				

実施回	第7回	実施日	2026/10/02 (金)	時限	1	班	
授業計画	精神看護実践に共通する働きかけの技法 ①権利擁護 ②自律と自己決定の尊厳 ③保護と支持	予習	b.教科書P4の精神障害と差別を読んでおく。				
		復習	権利擁護について、臨床例を確認する。				

		キーワード	スティグマ、インフォームドコンセント、自己決定、代弁機能
授業形態	講義	担当	中村

実 施 回	第8回	実 施 日	2026/10/02 (金)	時限	2	班	
授業計画	実習の展開(4) ⑨関連図のアセスメント ⑩アセスメントのために不足している情報のとり方 ⑪問題点の抽出	予　習	患者の関連図を作成する。				
		復　習	全体像をアセスメントし、問題点を考える。				
		キーワード	総合アセスメント				
授業形態	講義	担当	中村				

実 施 回	第9回	実 施 日	2026/10/09 (金)	時限	1	班	
授業計画	実習の展開(5) ⑫情報と関係を活かした看護計画の立案	予　習	全体像から得られた問題点に対する目標を考える。				
		復　習	看護目標から考えられる看護計画を立案する。				
		キーワード	個別性、O-P、T-P、E-P				
授業形態	講義	担当	中村				

実 施 回	第10回	実 施 日	2026/10/09 (金)	時限	2	班	
授業計画	実習の展開(6) ⑬看護計画の実践と評価	予　習	看護計画の実施する方法を考える。				
		復　習	看護の実践から得られた情報から、評価・修正が出来る。				
		キーワード	信頼関係、コミュニケーション中の修正・計画				
授業形態	講義	担当	中村				

実 施 回	第11回	実 施 日	2026/10/16 (金)	時限	1	班	
授業計画	実習におけるカンファレンスと振り返り	予　習	カンファレンスの目的と意義について、自分の考えをまとめておく。				
		復　習	グループワークでの発言や意見を記録にまとめる。				
		キーワード	グループダイナミクス、グループの凝集性				
授業形態	講義	担当	中村				

実 施 回	第12回	実 施 日	2026/10/16 (金)	時限	2	班	
授業計画	【リハビリテーション療法と精神療法】 1. 精神科作業療法 2. レクリエーション療法 3. 社会生活技能訓練(SST) 4. 精神科デイケア 5. 精神療法と認知行動療法 6. 森田療法	予　習	b.教科書P167の1精神科リハビリテーションとは、を読んでくる。				
		復　習	作業療法や森田療法の実際をイメージできるよう、確認しておく。				
		キーワード	リカバリー、ストレングス、精神力動的精神療法				
授業形態	講義	担当	中村				

実 施 回	第13回	実 施 日	2026/12/18 (金)	時限	1	班	
授業計画	さまざまな疾患による看護過程の違い ①うつ、躁うつ病 ②強迫性障害 ③パーソナリティー障害・摂食障害 ④アルコール依存症	予　習	教科書P105の看護診断リストを読んでくる。				
		復　習	それぞれの疾患による特徴的な違いを確認する。				
		キーワード	境界型人格障害、アディクション				
授業形態	講義	担当	中村				

実 施 回	第14回	実 施 日	2026/12/18 (金)	時限	2	班	

授業計画	プロセスレコードの分析	予　習	b.教科書P212の1．プロセスレコードとは、を読んでおく。
		復　習	記録したプロセスレコードの分析と考察を記録する。
		キーワード	相互作用と自己の洞察
授業形態	講義	担当	中村

実 施 回	第15回	実　施　日	2026/12/25 (金)	時限	2	班	
授業計画	プロセスレコード検討会	予　習	グループメンバーのプロセスレコードを読み、自己の意見をまとめてくる。				
		復　習	検討会実施後の自己の振り返りを記録する。				
		キーワード	自己発言、受け入れ、洞察				
授業形態	講義	担当	中村				